

軍政規定集

昭和十八年十一月十一日
第三號

馬來軍政監部

馬來監達第二八號

慰安施設及旅館營業取締規程制定ノ件達

部 内 一 般

慰安施設及旅館營業取締規程左ノ通定ム

昭和十八年十一月十一日

馬來軍政監

慰安施設及旅館營業取締規程

第一章 總 則

第一條 本規程ハ軍人軍屬並ニ一般邦人ヲ對象トスル慰安施設及旅館ノ整備並ニ營業取締ニ關スル事項ヲ規定ス

第二條 本規程ノ運用ニ當リテハ常ニ軍ト緊

密ナル連絡ヲ保持シ之ガ協調ニ努ムヘシ

第三條 慰安施設及旅館ハ軍人軍屬並ニ一般邦人ノ志氣ヲ昂揚シ日本人タルノ品格ヲ保持スルコトヲ主眼トス

第四條 慰安施設ハ處理上之ヲ左ノ如ク區分

一 娛樂施設（映畫、演劇、演技、讀書、

音樂、運動）

二 飲食施設（喫茶、食堂、料理屋）

三 特殊慰安施設（慰安所）

第五條 慰安施設ハ特ニ下士官以下ノ教育情操ヲ助成スル堅實ナル娛樂施設ノ整備ヲ第一義トシ飲食施設及特殊慰安施設ハ必要ノ最少限度ニ止メ且ツ酒亂ニ陥リ易キ（例ヘ

ハ日本式ガフエーノ如キ）施設ハ之ヲ避クルモノトス

第六條 飲食施設及特殊慰安施設（慰安所）ハ其ノ營業場所等ヲ考慮シ現地人ニ對スル文化施策ニ惡影響ヲ及ホサザル如ク努ムヘシ

第七條 慰安施設ノ經營者ハ邦人ニ限定スルヲ本則トスルモ從業員ハ爲シ得ル限り現地人ヲ活用シ邦人ノ使用ハ必要最少限度ニ止ムルモノトス

第八條 慰安施設營業ヲ左ノ如ク區分ス

一 軍專用

一般人ノ出入利用ヲ許サザルモノ

二 軍利用

一般人ノ出入利用ヲ許スモ軍人軍屬ニ對シ特ニ利便ヲ與フルモノ

三 其ノ他ノ營業

右以外ノモノ

第九條 軍專用及軍利用ノ認定ハ軍ニ於テ行フ

第十條 本規程ニ於テ軍トアルハ第二師團長又ハ第二師團長ノ指示スル獨立守備隊長ヲ謂フ

第十一條 海軍ノ所管ニ屬スル慰安施設及旅館ハ軍政機關ニ於テ關與セザルモノトス

第二章 營業處理

第十二條 左記事項ハ地方長官ニ於テ處理スヘシ

一 營業ノ許可、禁止、停止

二 營業ノ讓渡及營業所移轉ノ許可

三 稼業婦ノ就業及就業所變更ノ許可

四 營業者及稼業婦ノ廢業許可

第十三條 地方長官ニ於テ軍專用及軍利用ノ認定並ニ取消ノ要アリト認メタルトキハ其

ノ事由ヲ具シ軍政監ニ報告スヘシ

第十四條 軍政監前條ノ報告ヲ受ケタルトキ

ハ意見ヲ附シ軍ニ要請スルモノトス

第十五條 地方長官ニ於テ營業者及從業員ノ

轉業轉籍ニ關スル許可申請ヲ受理シタルト

キハ實情調査ノ上意見ヲ附シ軍政監ニ進達

スヘシ

第十六條 地方長官ニ於テ邦人ノ營業經營者

及從業員呼寄ノ要アリト認メタルトキハ關

係者ノ呼寄證明願ニ其ノ事由ヲ具シ軍政監

ニ報告シ其ノ決定ヲ得テ處理スヘシ

第十七條 軍政監前條ノ報告ヲ受ケタルトキ

ハ意見ヲ附シ軍ニ申請スルモノトス

第十八條 地方長官ハ營業處理ニ關シ左ノ各

號ニ準據スヘシ

一 開設ニ關シ軍ノ要望又ハ軍政監ノ指示

アルトキハ家屋設備ノ貸與等ヲ斡旋シ且

ツ敵産ニカカルモノナルトキハ敵産管理

ノ諸規定ニ依リ處理スルコト

二 營業ノ整備並ニ營業者及從業員ノ處分

ニ關シ軍ノ要望アルトキハ其ノ要望ニ從

ヒ處理スルコト

第十九條 本規程ニ依リ許可スル一般邦人ノ

專用ニ供スヘキ旅館ノ經營者ハ邦人ニ限ル

第二十條 軍専用及軍利用店ノ販賣價格、代

金、サービス料等ハ別途定ムル所ニ依ル

第二十一條 地方長官ハ慰安施設及旅館ノ營

業者並ニ從業員ニ對シ毎月一回健康診斷ヲ

行フヘシ

前項ノ外稼業婦ニ對シ每週一回檢査ヲ行フ

ヘシ

第二十二條 地方長官ハ一般衛生管理ニ關シ

必要アルトキハ關係軍隊ニ援助ヲ求ムルコ

トヲ得

第三章 監 督

第二十三條 地方長官ハ各營業者及從業員ニ對シ馬來監達第二十九號慰安施設及旅館營業遵守規則（以下單ニ遵守規則ト稱ス）ノ

勵行ニ付取締ヲ行フベシ

第二十四條 新ニ營業ヲ許可セントスルトキハ遵守規則ノ勵行ヲ許可條件トシ既設營業ニ對シテハ之ニ據ラシムル如ク措置スベシ

第二十五條 地方長官ハ營業開設ニ當リテハ公安風俗及衛生上支障ナキ様營業所ノ構造設備ヲ爲サシムベシ

第二十六條 地方長官ハ慰安施設及旅館營業者名簿並ニ稼業婦名簿（様式適宜）ヲ備付ケ異動ノ都度整理スベシ

前項ノ外稼業婦ニ對シ證票（様式適宜）ヲ交付シ就業中之ヲ携帶セシムルモノトス

四

第二十七條 地方長官ニ於テ軍專用及軍利用營業ノ許否並ニ禁止處分ヲナサントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ軍政監ニ稟申スベシ
前項以外ノ處分ニ於テモ特別ノ事情アルトキ亦同ジ

第二十八條 地方長官ハ本規程ニ依リ處理シタル事項ハ其都度軍政監ニ報告スベシ

第二十九條 本規程施行ノ爲必要ナル取締事項ハ地方長官之ヲ定ムルコトヲ得

第四章 雜 則

第三十條 支部ニ於テ從來實施セル事項ニシテ本規程ニ反スルモノハ漸次本規程ニ據ル如ク措置スベシ但シ簿冊ノ如キ支障無キ限リ從來ノモノヲ用ユルコトヲ得

附 則

本規程ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年十月五日馬來監達第二十四號慰安施設及旅館營業取締規程ハ之ヲ廢止ス

馬來監達第二九號

慰安施設及旅館營業遵守規則制定ノ件達

部 内 一 般

慰安施設及旅館營業遵守規則左ノ通定ム

昭和十八年十一月十一日

馬來軍政監

慰安施設及旅館營業遵守規則

第一條 慰安施設及旅館營業者ハ軍及軍政監部ノ別ニ指示スル事項ノ外本則ヲ遵守スベ

シ

第二條 慰安施設營業者ハ營業ノ區分ニ從ヒ店頭見易キ個所ニ附表第一號ノ標識ヲ掲クベシ但シ軍關係ニ非ザルモノハ此ノ限りニ在ラズ

第三條 從業員ヲ雇入レ又ハ解雇シタルトキハ其都度附表第二號様式ニ依リ所轄地方長官ニ届出ツベシ但シ遠隔ノ地ニアリテハ所轄警察署ヲ經由スルコトヲ得

第四條 營業者ハ附表第三號及第四號様式ノ從業員名簿ヲ備付ケ異動ノ都度整理シ置クベシ

第五條 營業者ハ各營業種別毎ニ組合ヲ組織シ所轄地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第六條 營業者稼業婦ヲ雇入レタルトキハ別冊藝妓、酌婦、雇傭契約規則ニ基キ雇傭契約ヲ定メ所轄地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第七條 營業者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ

- 一 外部ヨリ見透シ得ル場所ニ於テ婦女子ヲシテ客ト戲レ或ハ異様ノ服裝又ハ見苦シキ姿態ヲナサシメザルコト
- 二 婦女子ヲシテ遊興ヲ勸誘セシメザルコト
- 三 婦女子ヲシテ客ニ隨件外出セシメザルコト
- 四 社交ダンスヲ行ハシメザルコト
- 五 旅館ニ於テハ婦人ヲ客室ニ出入セシメザルコト
- 六 「レコード」及樂器類ハ十七時以降二十時迄ノ使用差支ヘナキモ頽廢的ノ歌詞音樂類ノ演奏及擴聲器ノ備付ヲナサザルコト
- 七 營業所ハ常ニ清潔ニシ衛生上遺憾ナキヲ期スルコト

八 從業員ノ保健衛生上必要ナル設備ヲナシ又冗費ヲ節約セシメ堅實ナル生活ヲナサシムル様常ニ指導監督スルコト

九 營業時間ハ十二時ヨリ二十四時迄トス

一〇 客室(特殊慰安所ヲ除ク)及裝飾燈ノ全部並ニ屋外照明燈ノ大部ハ二十四時ニ滅燈スルコト

一一 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ客ニ所定以外ノ料金ヲ請求セザルコト

第八條 營業者ハ所定ノ販賣價格料金サービス料其他之ニ準ズルモノヲ各客室ニ揭示シ置クベシ

第九條 營業者及從業員ハ地方長官ノ指示シタル所ニ依リ健康診斷ヲ受クベシ稼業婦ハ前項ノ外檢査ヲ受クベシ

第十條 營業者及從業員ハ軍ノ衛生巡察ヨリ指示注意ヲ受ケタルトキハ之ニ從フベシ

第十一條 稼業婦ハ就業認可ヲ受クルニ非ザ

レバ就業スベカラズ

檢査ノ結果病毒感染セリト認メラレタル者

ハ全治ノ認定アル迄就業スベカラズ

第十二條 營業者及従業員ハ軍政監ノ許可ヲ

受クルニアラザレバ轉業轉籍ヲ爲スコトヲ

得ズ

前項ノ許可申請ハ所轄地方長官ヲ經由スベ

シ

第十三條 營業者及稼業婦ニシテ廢業セント

スルトキハ所轄地方長官ニ願出許可ヲ受ク

ベシ

第十四條 經營者ハ營業開始ニ當リ敵産ニ付

テハ敵産管理人トシテ所要ノ整理ヲ爲スベ

シ

前項ノ敵産ハ非敵産物件ト區分整理スルモ

ノトス

第十五條 兵站旅館ニ於テ一般人ヲ宿泊セシ

メタルトキハ規定料金ノ外左ノ金額ヲ徵收

スベシ

一 將官待遇 五圓

一 佐官待遇 四圓

一 尉官待遇 三圓

前項ノ徵收額ハ軍政監ニ納付スベシ

第十六條 營業者(兵站旅館ニシテ一部ノ委

託經營ニ屬スルモノヲ除ク)ハ現金出納簿(樣

式適宜)ヲ備ヘ尙所要ニ應シ補助簿ヲ備ヘ

日日收支ヲ明確ナラシムベシ

第十七條 營業者(除特殊慰安施設營業)ハ左

ノ各號ノ決算書ヲ所轄支部警務部經由ノ上

軍政監ニ提出スベシ

一 毎月附表第五號ノ收支計算書

二 六ヶ月毎ニ附表第六號ノ資産負債内譯

表

第十八條 特殊慰安施設(慰安所)營業者ハ毎月附表第七號ノ收支計算書ヲ翌月十日迄ニ所轄支部警務部經由ノ上軍政監ニ提出スベシ

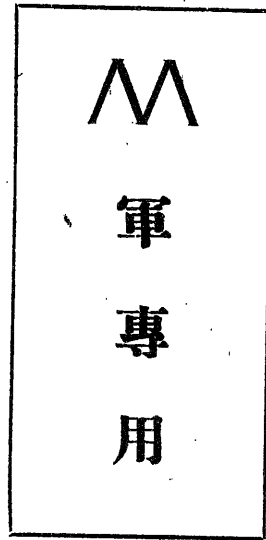
第十九條 營業者ハ本則ノ外地方長官ノ指示命令ヲ遵守スベシ

附 則

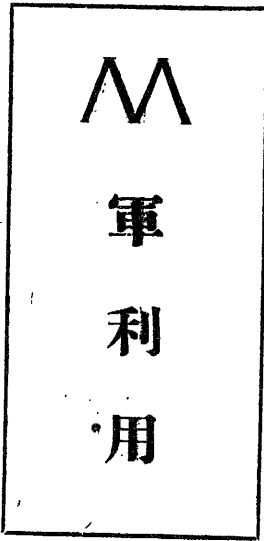
本規則ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附表第一號

一軍專用



二軍利用



大キサ

縦八十糎

横三十糎

程度ヲ超

ヘザルコ

ト

附表第二號

本籍	住所	氏名	性別	年齢	種族	從業ノ種別	雇入年月日	解雇年月日	昭和						
									年	月	日				
從業員雇入(解雇)届										營業所			營業者		
州(市)長官殿										印					

附表第三號

一 従業員名簿(其ノ一)

昭和 年 月 日起

従業員名簿

屋 號
營業者

附第表四號

從業員名簿(其ノ二)

			從業種別	
			氏名	
			年	齡
			性	別
			種	族別
			本	住
			籍	所
			雇入 解雇	雇入(解雇)年月日

附表第五號

收 支 計 算 書

昭和

年

月分

業種

屋號

氏名

收 入			支 出		
科 目	摘 要	金 額	科 目	摘 要	金 額
軍支拂宿泊料	名分		營 業 費		
同 食 事 料	名分		勞 務 費		
一 般 人 支 拂 宿 泊 料			給 料	人	
料 理 收 入			貸 金	人	
飲 料 收 入			手 當	人	
花代總收入			飲 料 購 入		
接 待 料 收 入			材 料 購 入		
雜 收 入			藝 妓 支 拂		
			接 待 料 給 仕 割 戻 額		
			諸 公 課		
			納 付 金		
			雜 費		
(差引損失)			(差引益金)		
	合 計				
			合 計		

注意 1. 料理店喫茶店旅館等業種ニヨリ科目ヲ適宜取捨シ又ハ新設
スルコトヲ得

2. 營業費中ニハ經營者所有ノ不動産(諸設備ヲ含ム)ノ償却ヲ
含ム

以上御屆ニ及候也

昭和

年

月

日

右(營業者氏名)

馬來軍政監殿

附表第六號

資 產 負 債 內 譯 表

昭和 年 月現在

業種 屋號 氏名

資 產			負 債		
科 目	內 譯	金 額	科 目	內 譯	金 額
固 定 資 產			資 本		
營業用設備什器			自 己 資 金		
			借 入 資 金		
開 業 費			買 掛 金		
貸 付 金			從 業 員 預 金		
賣 掛 金			何 々		
棚 卸 資 金					
預 金					
現 金					
何 々					

右御届ニ及候也

昭和

年

月

日

右(營業者氏名)

馬 來 軍 政 監 殿

附表第七號

收 支 計 算 書

昭和 年 月 分

何々俱樂部

營業者氏名

收 入			支 出		
科 目	摘 要	金 額	科 目	摘 要	金 額
玉代總收入			玉代 (稼業婦=拂戻)		
雜收入			賄 費		
			光 熱 費		
			衛 生 費		
			組 合 費		
			家 賃		
			給 料		
			營 繕 費		
			備 品 費		
			雜 費		
			本月利益		

備考1.投資額(稼業婦=貸與シアル前借金及開業迄=特ニ要シタル經費)

(イ)當初ノ金額

(ロ)現在迄ニ回收シタル額

前月迄ノ回收額

本月回收額

計

(ハ)差引未回收額

2.人員數 (イ)稼業婦 名 (ロ)其他使用人 名

右御届ニ及候也

昭和 年 月 日

一五

馬來軍政監殿

右何々

(印)

資産負債内譯表説明事項

- 一、本表ノ勘定科目ハ業態ノ主要項目ニ就キ設定シタルモノナルヲ以テ指定以外ノ資産負債ニ對シテハ經營者ニ於テ其ノ性質ヲ明確ナラシムヘク科目ヲ區分設定シ各勘定科目ノ月末現在高ヲ計上スルモノトス
- 二、固定資産ニハ開業ノ爲ニ要シタル建物及工作物ノ新築模様替ヘ等ニ要シタル金額ヲ計上ス
- 三、營業用設備什器ハ當該科目ノ初度調辨額ヲ計上シ別ニ定ムル原價償却法ニ依ル
- 四、開業費ニハ開業ニ至ル間ニ於ケル従業員ノ給料及旅費其他ノ諸掛ヲ計上ス
- 五、貸付金ニハ従業員ニ對シテ貸付ヲ爲シタル償權額ヲ計上ス
- 六、賣掛金ニハ月末現在ニ於ケル未收入金ヲ

計上ス

- 七、買掛金ニハ仕入シタル諸材料品ニ對スル未支拂金ヲ計上ス
- 八、損益計算上諸公課及支拂利子等ニ對シ期間計算ヲナシタル引當金ニ對シテハ之ヲ負債ニ計上スルモノトス
- 九、固定資産ノ減價償却ハ

旅館 年 料理屋 年

(別冊)

藝妓、酌婦雇傭契約規則

第一條 營業者藝妓酌婦(以下稼業婦ト稱ス)ヲ雇入レントスルトキハ其ノ契約ヲ左記標準ニ依リ爲スベシ
但シ從來ノ契約中稼業婦ノ利益ニ屬スルモノニシテ其ノ契約ヲ存續セントスルトキハ此ノ限りニ在ラズ

一 稼業婦ガ稼業ニ依ル收益金ヨリ強制貯金ヲ控除シタル残高ノ收得歩合ハ左記ニ據ルベシ

(イ) 稼業婦稼高ノ配當歩合

債務殘額 雇主所得 本人所得

千五百圓以上 六割以内 四割以上

千五百圓未滿 五割以内 五割以上

無借金 四割以内 六割以上

(ロ) 前借金及別借金ハ總テ無利息トス

第二條 稼業婦ニ屬スル左ノ費用及物品ハ雇

主ノ負擔トス

一、居室、戸柵、衣類、箆、消毒用器具

二、寢具一式

三、食費、燈火

四、消毒藥品

五、健康診斷ニ要スル費用

第三條 雇主ハ稼業婦ノ毎月稼高ノ百分ノ三

ヲ地方長官ノ指定スル郵便局ニ稼業婦本人ノ名儀ヲ以テ貯金シ稼業婦廢業ノ時本人ニ交付スルモノトス

第四條 稼業婦ノ配當所得金ヲ以テスル前借金返濟ハ毎月其所得ノ三分ノ二以上トシ殘

金ハ稼業婦ノ自由トス

第五條 稼業上ニ起因スル妊娠分娩及疾病ニ要スル諸費用ハ雇主、稼業婦折半負擔トシ

其ノ他ニ起因スルモノハ稼業婦ノ負擔トス

但シ此ノ場合ニ於テモ雇主ハ見舞金トシテ

適當ノ補助ヲナスモノトス

第六條 遊客其他ヨリ稼業婦ニ於テ直接收受

シタル金品ハ總テ稼業婦ノ收得トス

第七條 遊興費ノ不拂ハ總テ營業主ノ負擔ト

ス

第八條 稼業婦廢業シタルトキハ雇主ハ稼業

當日迄ノ稼高ヲ精算スベシ

第九條 稼業婦ガ本契約締結ノ日ヨリ滿六ヶ月以内ニ於テ雇主ノ意ニ反シテ解約セントスルトキハ雇主ニ對シ相當額ノ違約金ヲ補償スルモノトス但シ其ノ金額ハ所轄地方長官ノ承認ヲ得テ決定スベシ

第十條 雇主ハ様式第一號ノ貸借計算簿及様式第二號ノ稼高日記帳各二通ヲ調製シ其ノ各一通ヲ稼業婦ニ交付シ毎月末計算ノ上整理シ置クベシ

第十一條 稼業婦一時ニ別借百圓以上爲サントスルトキハ所轄地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第十二條 左ノ場合ニ於テハ貸借計算簿及稼高日記帳ヲ所轄地方長官ニ提出シ檢閲ヲ受クベシ

一、稼業婦ノ開業就業所ノ變更又ハ廢業セントスルトキ

二、別借金ノ認可ヲ受クルトキ
三、契約ヲ變更セントスルトキ
四、亡失、毀損等ニ依リ帳簿ヲ變更セントスルトキ

第十三條 本則ニ定メタル事項以外ノ雇傭關係ヲ契約セントスルトキハ其都度所轄地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第十四條 本則施行ノトキ契約シアルモノハ本則ニ依リ契約シタルモノト看做ス但シ稼業婦ノ不利益トナル事項ハ本則ニ適合スル如ク變更スベシ

昭和 年 月 日起

貸借計算簿

軍專(利)用
(屋號)

營業者氏名
藝名
氏名

貸 借 計 算 簿

	年	月	日	貸借理由	貸借金額	返済金額	差引現在高	雇主印	稼業婦印

昭和 年 月 日起

稼 高 日 記 帳

軍專(利)用

(屋號)

營業者氏名

藝名

氏名